

NPO法人ありんこに  
 関する詳しい情報は  
 公式ホームページ  
 arinnko.sakura.ne.jp  
 にて公開中！！

# ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部  
 編集責任者 一戸 由佳  
 住所 青森県弘前市大字富栄  
 字笹崎80-1  
 電話 0172-96-2774  
 Fax 0172-55-9591

## スプリングコンサート やよあかカンタービレ♪Withカンパニー ~♪My Favorite Music♪~

### 理事長のつぶやき

皆さんご存知のやよあかカンタービレ♪。ありんこまつりに毎年出演していただいておりますが、最近ではその活動の範囲をどんどん広げています。そして今回、藤田庭園別邸にてスプリングコンサートが催されました。



一人一人多彩なメンバーに加えて今回ゲストにフルートやリコーダーが加わり、約1時間のコンサートは演奏者と聴き手がとても近くて、アットホームな雰囲気に含まれていました。

演奏された曲目も、懐かしいヒット曲やディズニーの名曲、クラシックやオペラなど幅広く、色々な世代の人に楽しめる内容でした。

会場は古い洋館で、段差もバリバリでしたが、バリアーなんのその、たくさんの人の手によるマンパワーのおかげで、車椅子の人もバギーの人も、みんな一緒の空間を共有し、同じ音楽を聴き、同じ瞬間を過ごすことができました。私は車椅子の娘と一緒に聴きに行きましたが、帰りに主人を呼びに行っている間に、娘はその場にいた人たちに助けられ、段差を超えていました。自分たちだけで何とかしようと思わずに、少し勇気をもって、周りの人に助けを求めることができる力も、バリアフリーやインクルーシブを世の中に浸透させるために必要なかもしれないと改めて感じました。素敵な音楽や人と出会い、リフレッシュできた貴重な時間でした。今後もぜひ活動を広げていってほしいと願っています。



歌姫の独唱にうっとり

#### ♪演奏プログラム♪

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1 星に願いを        | 11 スイートメモリーズ   |
| 2 ありのまま        | 12 私のお気に入り     |
| 3 いつか夢で        | 13 アマポーラ       |
| 4 プラームスフル心No.9 | 14 涙そうそう       |
| 5 リベルタンゴ       | 15 私のお父さん(オペラ) |
| 6 見上げてごらん夜の星を  | 16 私の名はミミ(オペラ) |
| 7 糸            | 17 愛のテーマ(映画音楽) |
| 8 タイスの瞑想曲      | 18 ああ幾度か(オペラ)  |
| 9 朝日のようにさわやかに  | ピアノ・フルート       |
| 10 赤いスイートピー    | 歌・ハンドベル・リコーダー  |



リコーダーの柔らかな音色

#### 感想

結成して4年目の初発表会。  
 少しの練習不足を気にしながら、ミスをしなが  
 ら何とか無事終了。 あぁサッパドした！！

### お知らせ・掲示板

やよあかカンタービレ♪  
 メンバー募集中  
 私たちと一緒に楽しく  
 音楽を奏でませんか？  
 お問い合わせ  
 児童デイサービスやよいのあかり  
 0172-96-2774  
 担当 棟方直子まで

定期総会について  
 NPO法人ありんこは、  
 5月に定期総会を開催しま  
 す。正会員、理事の方々には  
 4月に改めてご案内をいた  
 します。  
 現在のところ、ゴールデン  
 ウィーク明けの5月中の  
 日曜日。午前中の開催を予  
 定しています。

やよいのあかりの行事や活動はこれまで職員がいろいろと企画して実施してきたが、最近、裏面で写真を紹介している「お茶会」に私はとても感動した。

まずはその発想。私は娘が障害児だから、「障害のある子もいない子も一緒にできる」方法について、これまでいろいろ考えてきたつもりである。けれど、私の中では日本の伝統文化である「お茶」は、自分自身でもとてもハードル(バリアー)が高く、子どもたちに体験してもらおうという考えは皆無だった。

ところが、一人の職員のアイデアに、職員たちみんなが、何とかして実現しようと動き出した。お茶をたてられる職員がいたことも幸いだったが、事前にお茶とお菓子で職員たち自身が体験し、雰囲気づくりや簡単な作法なども確認していた。

当日の様子は写真を見れば一目瞭然。子どもたちはかなり神妙な面持ちで、丁寧にたてられたお茶をそれぞれに味わい、いろいろな表情をみせてくれている。

今回職員は、慣れない作法のあるお茶会の中で、いろいろなトラブルを想定していたそうだが、そんな大人の心配をよそに、きちんと順番を待ち、お茶とお菓子を味わい、器を愛で、雰囲気を楽しんでいる落ち着いた子どもたちがいたのだ。

この企画を立案し、実現させた職員たちみんなに、感謝の気持ちでいっぱいである。

あらためて、この子どもに出来ないこと、無理なことはない。周囲に合理的配慮ができるかどうかだけなのだと強く感じた。

本当に良い企画だった。